

善導寺の御詠歌

松 濤 基 作曲
鈴 木 錦 承 振 付

準備 予め舞扇を腰にさして定位置につき正座して扇をぬき膝前に要を右にして横におく

唱え奉る 善導寺の 静かに合掌

御詠歌に 右手に扇をとり静かに立つ

歌	手	足
よ	扇の表を上にして胸前に先端前方に開く	右足より前の方に小走りに出る
し	左手は扇の手前の端を下から持つ	
み		
ず	右手扇の「要」を中心にして胸前で廻し「要」	両足を揃えて立つ
の	を下にして表外向きに立てる	
し	同時に左手は腕前、片手合掌して扇の内側中	
し	央に立てる(扇の上に指先を半分以上出す)	
な	扇「要」を右手に持ち右上方にあげる	右足を右方に踏み出し体重をかける
が	扇の「要」を持ち表を上にして右上方に出し	左足・右足前より右に出す
し	右手首をヒラヒラと廻して左下方に流し、左手	左足に体重を移す
れ	左下に伸ばす	
お	右手扇「要」を持ち右上方にかざす	右足更に右方に出しすぐ体重を移し直ちに
お	右手首を胸前で廻して左下方脇の下に立てる	左足を右方に出し体重を左足に移し
き		
く		
お	左足一歩後に引き右足よりすり足にて左方向に進む	
お	両手両側下方よりすくいあげる様に左胸前にあげる	左方にすり足して左足を左方に出して体重をかける
き	左方上方に捧げる	
く		
(休)		
ち	身体は前方に向けたまま扇表を上にして左手・	右足よりきざみ足でうほうにいく
と		
せ	右手の下に軽く重ねて左肩前よりうたせなが	
が		
わ	ら右方に流す	
(休)		

歌	手	足
ひ	右手親指を表正面右端に当て人差中指上から	右足右方に引き斜め右向きとなり左足は揃え
丨	先端の骨に添って伸ばし右下方より側面を通	て立つ
ろ	って右頭上にゆっくりとかざす	(体は斜め右向きとなる)
丨 め	右手右方に掌をあげて伸ばす	
ひろ	扇を下方に下しつつ左手に移し左側方より	左足を軽く屈膝しながら左方に出し斜め左向
め	上挙して左頭上にかざす	きとなり右足を揃え
ひろ	右掌を下にして左方に伸ばす	
め	(指先上)	
(休)		
た	扇右腰前にて右手に移し右手「要」を下にして	右足を右下方に引き更に左足を後方に引き
ま	腰横に立てる	軽く屈膝する
い		
し 丨	左手は左上方に捧げる	
ち	扇そのまま右上方にあげ扇を見る 左手を	右足を右方に踏み出し、左足を右足の後方に
ん 丨	扇左端より半円を画いて右方斜め下に流す	出して、ツマ先を立て屈膝する
ぜ	反対動作(左方に行く)	左足を左方に出し、左足の後方に右足ツマ先
い 丨	前方向きとなり両手両側下方より両手を重ね	を立て屈膝する
こ く	表を上にしてゆっくりと前上方に捧げる	ゆっくり右足を前方に出し右足を後方に引き
し 丨	前上方にあげ捧げ軽く低頭する	膝をつく
(休)		
終って正座して扇を閉じ腰にさし合掌して退場する		

ポイント注意

〔詠題部分〕 扇の取り方。左手は膝の上に、右手は扇を合掌の位置からスーッと取ってください。

【よーみずの】 扇の高さ。扇は合掌の指が半分以上出る高さにします。

【おおきく】 足の動き。「おおきく」の「お」で左足を引いて左向きになり右足から踏み出します。

【ちとせがわ】 足の動き。体をやや斜めにして右方向へ小刻みに行きます。カニの横這いにならない様に注意しましょう。